

Victory

NO.6

令和2年8月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

処暑（8月23日ごろ）を過ぎ、今月もあとわずかとなりました。自然はいつものように次の季節への身支度をはじめています。相変わらず日中は暑さが猛威を振るっていますが、朝夕の空気のちょっとした変化に気づいていますか？ゆっくり深呼吸してみましょう。

今、校内は朝陽祭に向けて動いています。3年生にとっては高校生活最後の行事。いつもの自分らしく、本番で最高のパフォーマンスができるよう応援しています。



朝陽祭恒例

今年もやります古本市！

～“ワクワク胸躍る古本市” 図書委員会主催～

今回のコロナ禍で開催が危ぶまれましたが、みなさんからの古本提供と日々のコロナ対策で今年も開催することになりました。たくさんの参加お待ちしております。

*今回は、「古本市」のみ行います。

*11:05～以降は、自由に参加できます。

*200円以上購入した人はくじがひけます。



外山滋比古氏 山崎正和氏の追悼コーナーを作りました。

8月7日に英文学者の外山滋比古氏が、21日に戯曲家で評論家の山崎正和氏が死去されました。

両氏は、みなさんが学ぶ国語の教科書や入試問題にその著書が頻出される“人気者”（！？）。

外山氏の「思考の整理学」は240万部を超える大ベストセラーとなり、『大学生のバイブル』と言われるほど優れた著書です。高校時代にぜひ一度は読んでほしい名著です。

山崎氏の本は、本校図書館には現在3冊しか蔵書がありません。鋭い文明批評を解く氏の著書にチャレンジしませんか？戯曲家でもあった氏が書いた古典解釈の文章に触れてみましょう。

コーナーには、それぞれの著書と合わせて各新聞の関連記事を紹介しています。取り上げ方の違い、紹介文の表現の違いなどにも注意して読んでみましょう。



アオハルしたい！部活動本

図書館教育ニュースの特集記事をコーナー展示しました。

《運動系》

- ・『弱くても勝てます 開成野球部のセオリー』高橋秀美著
- ・『一瞬の風になれ』佐藤多佳子著
- ・『チア男子』朝井リョウ著
- ・『北風』藤島大著

《文化系》

- ・『響け！ユーフォニアム』武田綾乃著

《特殊系》

- ・『カブキブ』榎田ユウリ著
- ・『みつばち高校生 富士見高校養蜂部物語』森山あみ著

《部活動から見えるもの》

- ・『補欠廃止論』セルジオ越後著
- ・『常勝集団のプリンシプル 自ら学び成長する人材が育つ “岩出式” 心のマネジメント』
- ・『部活やめてもいいですか。』梅津有希子著



授業で図書館を使う

7月～8月、以下の図書館授業活用がありました。

- ・中学1年英語
- ・高校1年地理選択
- ・高校2年保健支援内容は、「資料提供」、「レファレンス」、「調べ方の情報収集の方法・情報カード活用について・資料の読み方のレクチャー」、「複写サービス」です。

写真は、高校2年保健「社会生活と健康」の関連資料群です。
今回は、本校蔵書のほかに**県立図書館マイライン**を活用して60冊ほど借りています。



司書がすすめる棚から一つかみ「高校生直木賞」を知っていますか？

毎年文学賞の大御所である「芥川賞」と「直木賞」が半期に1回あるのは、知っていると思います。こちらは、作家が選考委員としていわゆるその道のプロの視点で候補作から受賞作品を決定します。

さて、「高校生直木賞」とは…



全国の高校生たちが
集まって議論を戦わせ、
直近一年間の直木賞の候補作から
「今年の1冊」を選び試み！

(高校生直木賞ホームページより引用)
リンク先 <http://koukouseinaoki.com/>



きっかけは、フランスで読書教育の一環として30年以上前から行われている「高校生ゴンクール賞」。日本では2014年5月に発足して、今回は第七回目です。来年チャレンジしてみませんか？

第七回高校生直木賞受賞作品は、以下の本でした。ちなみに今回は、オンラインでの開催でした。なお、受賞作は、第161回直木賞受賞作です。

うす いちせやまおん なていきんたまむす
『渦 妹背山婦女庭訓魂結び』大島真寿美著 (文藝春秋) 913.6 才

「物語る人」を作品のモチーフにして書き続けてきた著者の今回の作品は、江戸時代の文楽(人形浄瑠璃)の作者・近松半二。半生を人形浄瑠璃に捧げた半二と、彼の生み出す虚実の世界に魅せられた大衆、そして半二とともに芸の世界で生きる仲間それらが交わり渦となり、あらゆるものを巻き込んでいく。半二の一代記を通して浄瑠璃の世界を堪能できるだろう。



